
INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2008年第10週
(3月3日～3月9日)

* 2008年3月12日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>

平成20(2008)年3月13日発行

編集・発行

東京都医師会感染症予防検討委員会
東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2008年10週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		7週	8週	9週	10週	年累計	10週	年累計
一 類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二 類	急性灰白髄炎							1
	結核	53	74	69	52	648	275	3953
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *							
三 類	コレラ							2
	細菌性赤痢		1		2	12	11	60
	腸管出血性大腸菌感染症		3		2	8	15	125
	腸チフス					3	2	9
	バラチフス					1		6
四 類	E型肝炎		1			2		9
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎		3	1	1	9	1	39
	エキノкокクス症							4
	黄熱							
	オウム病							
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病					4		38
	デング熱					3		11
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱							1
	日本脳炎							
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							
	マラリア			1		4	1	6
野兔病						1	2	
ライム病							1	
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症		1		2	14	13	148	
レプトスピラ症								
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)				年累計	全国(診断週)	
		7週	8週	9週	10週		10週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	5	1	4	3	33	15	149
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	1	1	1		6	1	35
	急性脳炎 **		1			5	1	48
	クリプトスポリジウム症							
	クロイツフェルト・ヤコブ病				1	1	1	23
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1		1		6	2	21
	後天性免疫不全症候群	7	6	20	11	103	31	246
	ジアルジア症			1		3	3	13
	髄膜炎菌性髄膜炎							3
	先天性風しん症候群							
	梅毒	1	4	6	3	27	4	125
	破傷風					2	1	12
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1			2		8	
風しん	3		1	4	12	6	84	
麻しん	56	76	105	78	468	387	3649	
指定	インフルエンザ (H5N1)							
2008/3/12集計								

* 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

** ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 52件 肺結核40件、その他12件で、推定感染地はすべて国内であった。年齢は5歳未満2件、10歳代2件、20歳代6件、30歳代9件、40歳代6件、50歳代8件、60歳代5件、70歳代6件、80歳代8件であった。80歳代1件の死亡例が報告されていた。

〈三類感染症〉

細菌性赤痢 2件 フレキシネル1件、ソネ1件で、推定感染地はインドネシア1件、インド1件、推定感染経路はいずれも飲食物による経口感染であった。

腸管出血性大腸菌感染症 2件 いずれも無症状病原体保有者で、血清型・毒素型はいずれもO91(VT1)、年齢は60歳代2件であった。

〈四類感染症〉

A型肝炎 1件 推定感染地はインド/スペイン/トルコで、推定感染経路は飲食物による経口感染であった。

レジオネラ症 2件 いずれも肺炎型で、患者は50歳代女性と60歳代男性。推定感染地はいずれも国内で、感染経路はいずれも不明であった。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 3件 腸管アメーバ症1件、腸管外アメーバ症2件で、推定感染地はいずれも国内、推定感染経路はいずれも性的接触(同性間2件、性別不明1件)であった。

クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 家族性CJDで、50歳代であった。

後天性免疫不全症候群 11件 無症候キャリア8件、AIDS 2件、その他1件で、推定感染地は国内8件、タイ1件、シンガポール1件、不明1件であった。推定感染経路は性的接触10件(同性間9件、異性間1件)、不明1件であった。

梅毒 3件 早期顕症梅毒Ⅱ期2件、無症候梅毒1件で、推定感染地はすべて国内、推定感染経路はすべて性的接触(同性間1件、性別不明2件)であった。

風しん 4件 検査診断例1件、臨床診断例3件で、年齢は10歳未満2件(うち5歳未満1件)、20歳代1件、30歳代1件、風しん含有ワクチン接種歴は無し1件、1回1件、不明2件であった。

麻しん 78件 麻しん(検査診断例)26件、麻しん(臨床診断例)47件、修飾麻しん(検査診断例)5件で、年齢は10歳未満15件(うち5歳未満14件)、10歳代18件、20歳代27件、30歳代14件、40歳代2件、50歳代1件、60歳代1件であった。麻しん含有ワクチン接種歴は無し32件、1回23件、不明23件であった。

定点把握対象疾患 報告数 2008年10週

定点種別	対象疾患	2008年					報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		7週	8週	9週	10週 (定点当たり)			
小児科	RSウイルス感染症	15	14	11	13	0.09	150	150
	咽頭結膜熱	19	37	27	26	0.17		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	307	371	409	387	2.58		
	感染性胃腸炎	1,612	1,999	2,028	2,337	15.58		
	水痘	157	183	190	179	1.19		
	手足口病	5	15	4	3	0.02		
	伝染性紅斑	17	20	19	19	0.13		
	突発性発しん	75	77	92	81	0.54		
	百日咳	0	2	4	3	0.02		
	ヘルパンギーナ	2	2	2	1	0.01		
	流行性耳下腺炎	48	44	37	59	0.39		
	不明発しん症(注1)	5	10	6	9	0.06		
	MCLS(川崎病)(注1)	0	0	2	2	0.01		
インフルエンザ	インフルエンザ(注2)	1,568	1,516	1,027	849	2.97	286	290
眼科	急性出血性結膜炎	1	1	0	4	0.10	39	39
	流行性角結膜炎	18	20	16	21	0.54		
基幹	細菌性髄膜炎(注3)	0	0	0	1	0.04	23	24
	無菌性髄膜炎	1	0	0	0	0.00		
	マイコプラズマ肺炎	5	5	2	5	0.22		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0.00		
2008/3/12集計								

(注1) 不明発しん症、MCLS(川崎病)は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 高病原性鳥インフルエンザを除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

風しん、麻しん、成人麻しんは2008年第1週より全数把握対象疾患に変更。

(定点把握対象疾患のコメント)

- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は微減したが、過去5年平均の同時期と比較して依然として高いレベルにあり、注意が必要である。
- ・感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。過去の同時期とは異なる推移を示しており、注意が必要である。増加の理由として、ノロウイルス以外の病原体も考慮する必要がある。
- ・インフルエンザの定点当たり報告数は5週連続して減少した。過去5年平均の同時期と比較しても低いレベルで推移している。
- ・細菌性髄膜炎が2008年になって初めて報告された。定点当たり報告数は特に多いわけではない。

(定点医療機関からのコメント)

みなと保健所管内定点医療機関

- ・感染性胃腸炎:患者84名のうち、ロタウイルスが確認された者25名。

* インフルエンザに関するコメントは13～14頁にまとめて記載しました。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2008年10週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月	1			17	3			2		
～11か月	5	1		119	6		4	37		
1歳	5	4	13	348	30			37		
2歳		4	23	222	34	1	2	4		1
3歳		3	26	241	21		2			
4歳		6	67	217	30	2	4	1		
5歳		3	48	198	21		1			
6歳		3	48	161	18		4			
7歳			47	143	6		2			
8歳			32	118	1					
9歳			16	87	2					
10～14歳		1	37	167	6				1	
15～19歳			3	42						
20～29歳	2	1	27	257	1				2	
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	13	26	387	2337	179	3	19	81	3	1
先週比	2	-7	-43	331	-6	-1		-11	-1	-1

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月		1		3		
～11か月		2		12		
1歳	5	3		31		1
2歳	2			37		
3歳	5			46		1
4歳	12	1	2	65		
5歳	13			80		1
6歳	10			68		
7歳	1	1		46		
8歳	6			50		
9歳				26		
10～14歳	4	1		97		
15～19歳	1			34		
20～29歳				57		1
30～39歳				98		8
40～49歳				59	1	1
50～59歳				20	2	2
60～69歳				13	1	2
70～79歳				5		4
80歳以上				2		
合計	59	9	2	849	4	21
先週比	22	3		-178	4	5

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数 【年齢階級別】 2008年10週

	風しん	麻しん
0歳		6
1歳	1	8
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		
7歳	1	1
8歳		
9歳		
10～14歳		5
15～19歳		13
20～29歳	1	27
30～39歳	1	14
40～49歳		2
50～59歳		1
60～69歳		1
70～79歳		
80歳以上		
合計	4	78

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2008年10週

定点種別	小児科									
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田				30						
中央区			3	15						
みなと	4	3	17	127	17		1	6		
新宿区			6	85	3					
文京			5	7	2					
台東	1	1	10	33	5		1	3		
墨田区			17	24	1			2		
江東区		1	21	176	7			2		
品川区			11	127	2			2		
目黒区			1	17	1		1			
大田区	2	9	15	180	4		2	5		
世田谷		2	8	131	5		2	3		
渋谷区			2	42	3	1	1			
中野区			10	106	8		2	3		
杉並		3	9	86	1		1	1		
池袋			6	26						
北区			1	64	6			4		
荒川区			16	27	1			1		
板橋区				32	2		1		2	
練馬区			18	55	12			4	1	1
足立			9	53	12		1			
葛飾区			10	64	3			7		
江戸川	5	1	19	121	5	1	2	7		
八王子市		5	32	151	22		1	4		
西多摩			8	68	3			2		
南多摩			14	51	7	1		4		
町田			77	167	12			11		
多摩立川			6	62	6		1			
多摩府中			15	87	10		1	4		
多摩小平	1	1	21	121	19		1	6		
島しょ				2						

東京都合計	13	26	387	2,337	179	3	19	81	3	1
-------	----	----	-----	-------	-----	---	----	----	---	---

全数把握対象疾患
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】2008年10週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				4		
中央区	2			6	3	1
みなと				17		
新宿区	1			23		3
文京	1			10		
台東	5			14		
墨田区		1		18		
江東区	1			20		1
品川区		1		22		
目黒区	3			2		
大田区	9	1		23		1
世田谷	11			71		
渋谷区	1			6		
中野区	2			16		
杉並	2			26		
池袋	3			16		
北区			1	18		
荒川区	4			10		
板橋区		1		22		
練馬区	3			34		1
足立	2	1		15	1	1
葛飾区	2			34		
江戸川				52		
八王子市	2	2	1	28		3
西多摩				56		2
南多摩	1			23		
町田	3	1		29		
多摩立川				31		2
多摩府中	1			115		2
多摩小平		1		85		4
島しょ				3		

東京都合計	59	9	2	849	4	21
-------	----	---	---	-----	---	----

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと		2
新宿区		3
文京		2
台東		
墨田区		
江東区		3
品川区		
目黒区		
大田区		14
世田谷		8
渋谷区		1
中野区		1
杉並		
池袋		
北区	1	1
荒川区		1
板橋区		1
練馬区		2
足立		3
葛飾区		1
江戸川	1	6
八王子市	1	3
西多摩		1
南多摩		3
町田		5
多摩立川		5
多摩府中	1	3
多摩小平		9
島しょ		

東京都合計	4	78
-------	---	----

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2008年10週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田				7.50						
中央区			1.00	5.00						
みなと	0.67	0.50	2.83	21.17	2.83		0.17	1.00		
新宿区			1.00	14.17	0.50					
文京			1.67	2.33	0.67					
台東	0.33	0.33	3.33	11.00	1.67		0.33	1.00		
墨田区			5.67	8.00	0.33			0.67		
江東区		0.25	5.25	44.00	1.75			0.50		
品川区			1.83	21.17	0.33			0.33		
目黒区			0.33	5.67	0.33		0.33			
大田区	0.22	1.00	1.67	20.00	0.44		0.22	0.56		
世田谷		0.25	1.00	16.38	0.63		0.25	0.38		
渋谷区			0.50	10.50	0.75	0.25	0.25			
中野区			1.67	17.67	1.33		0.33	0.50		
杉並		0.50	1.50	14.33	0.17		0.17	0.17		
池袋			1.20	5.20						
北区			0.25	16.00	1.50			1.00		
荒川区			8.00	13.50	0.50			0.50		
板橋区				5.33	0.33		0.17		0.33	
練馬区			3.60	11.00	2.40			0.80	0.20	0.20
足立			1.80	10.60	2.40		0.20			
葛飾区			2.50	16.00	0.75			1.75		
江戸川	1.00	0.20	3.80	24.20	1.00	0.20	0.40	1.40		
八王子市		1.25	8.00	37.75	5.50		0.25	1.00		
西多摩			1.60	13.60	0.60			0.40		
南多摩			3.50	12.75	1.75	0.25		1.00		
町田			19.25	41.75	3.00			2.75		
多摩立川			1.00	10.33	1.00		0.17			
多摩府中			1.50	8.70	1.00		0.10	0.40		
多摩小平	0.17	0.17	3.50	20.17	3.17		0.17	1.00		
島しょ				2.00						

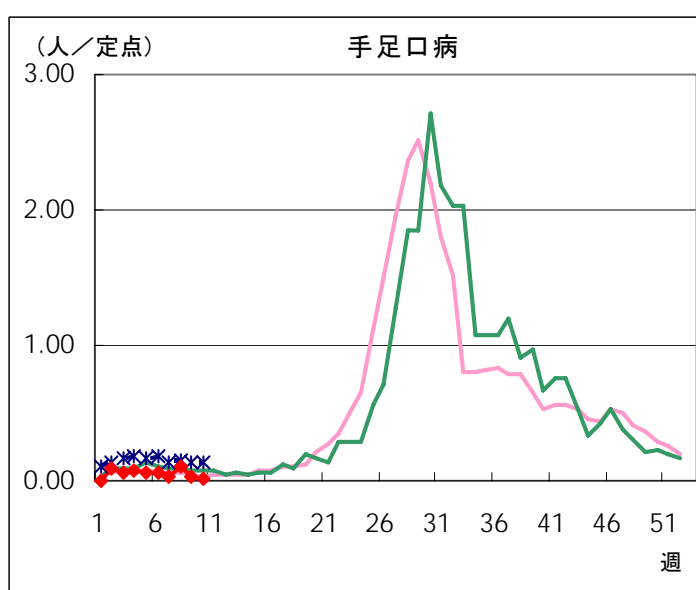
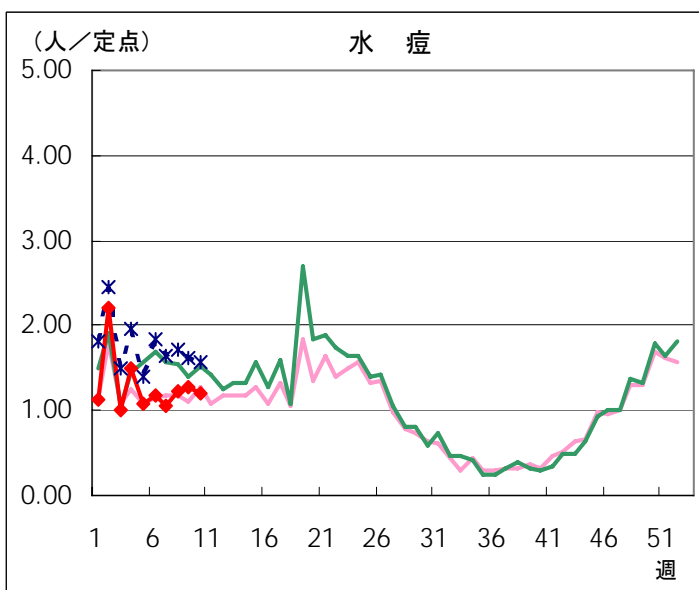
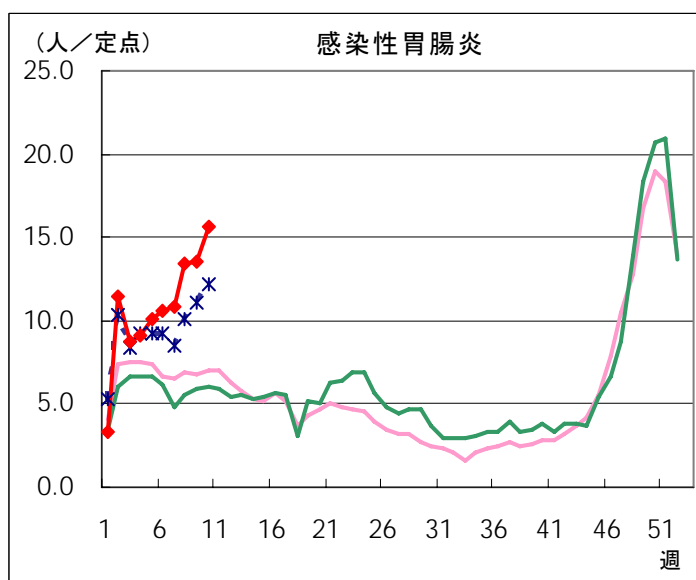
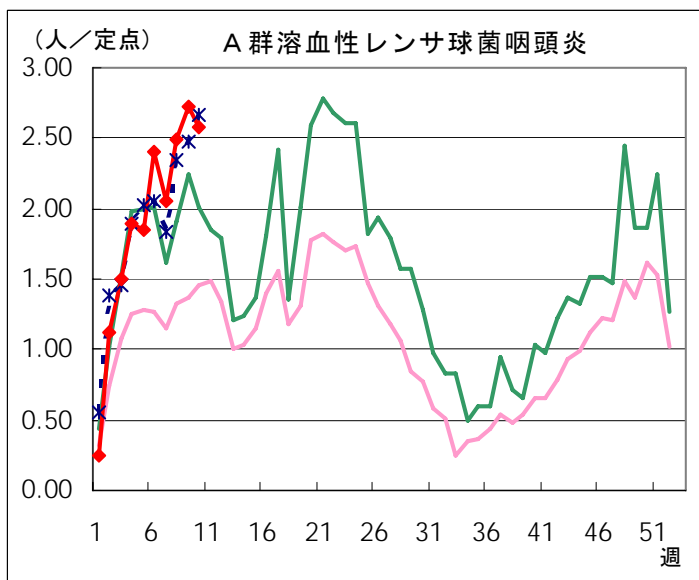
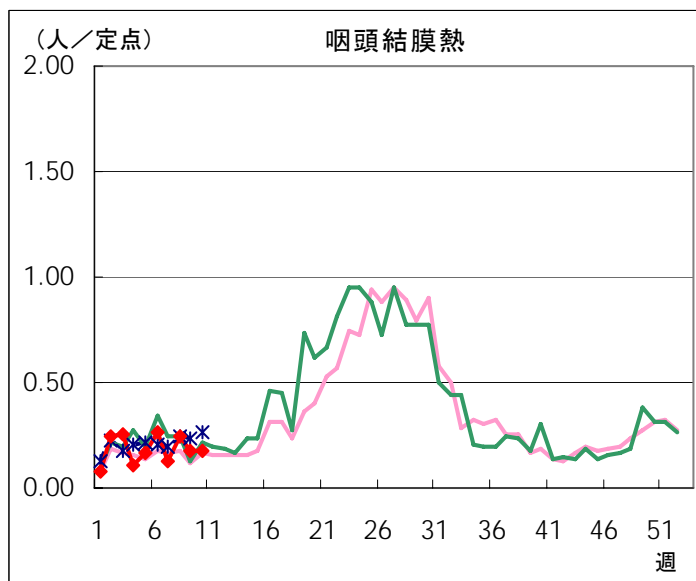
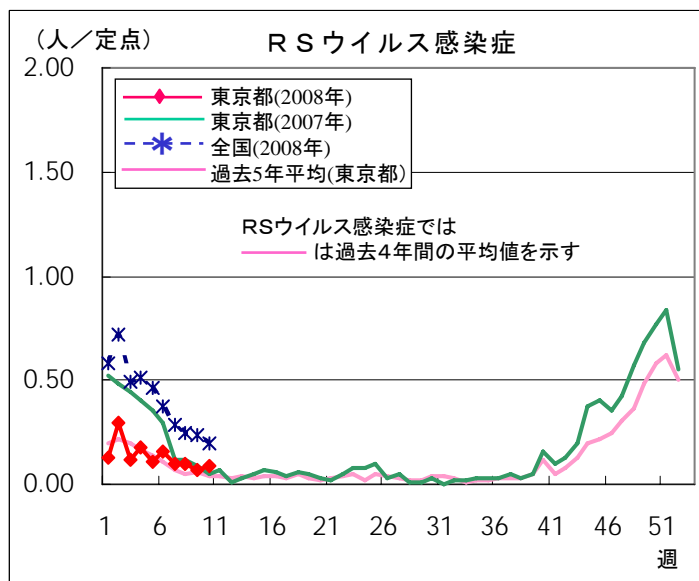
東京都	0.09	0.17	2.58	15.58	1.19	0.02	0.13	0.54	0.02	0.01
-----	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------

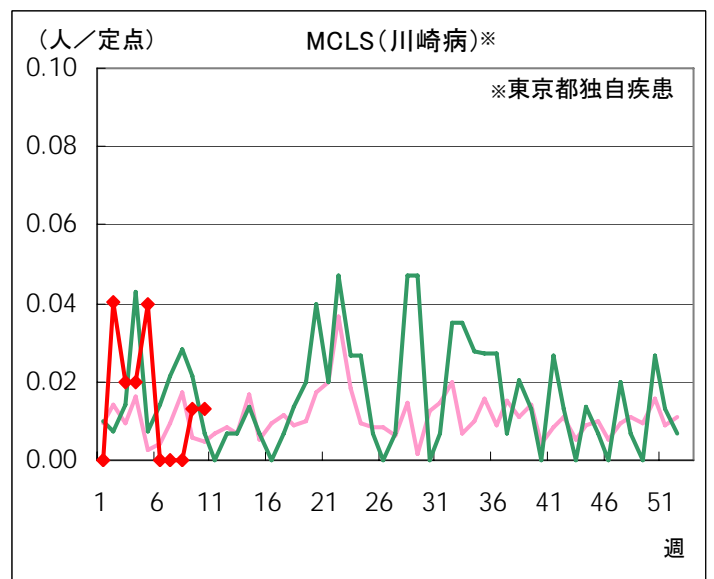
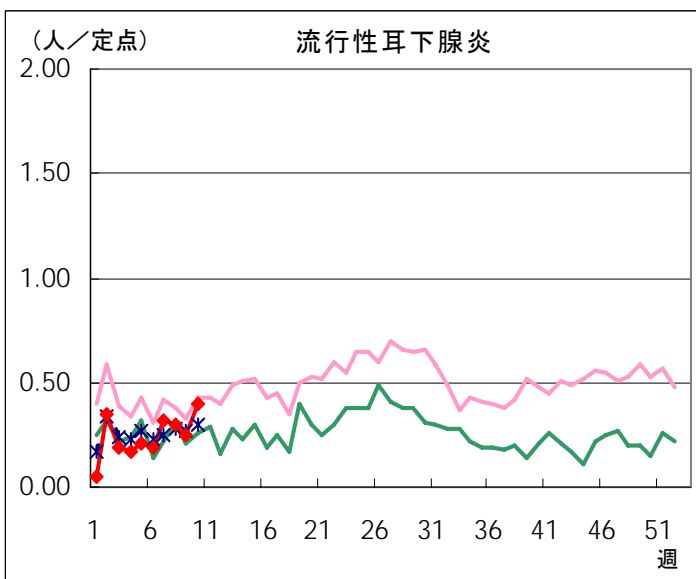
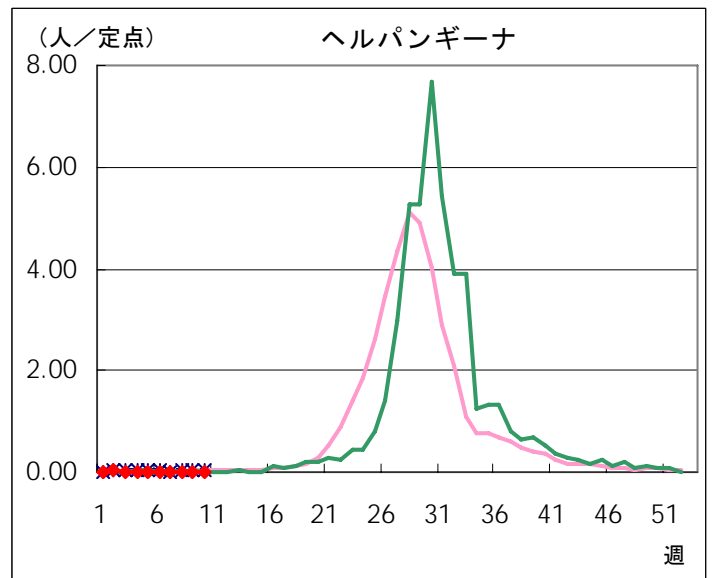
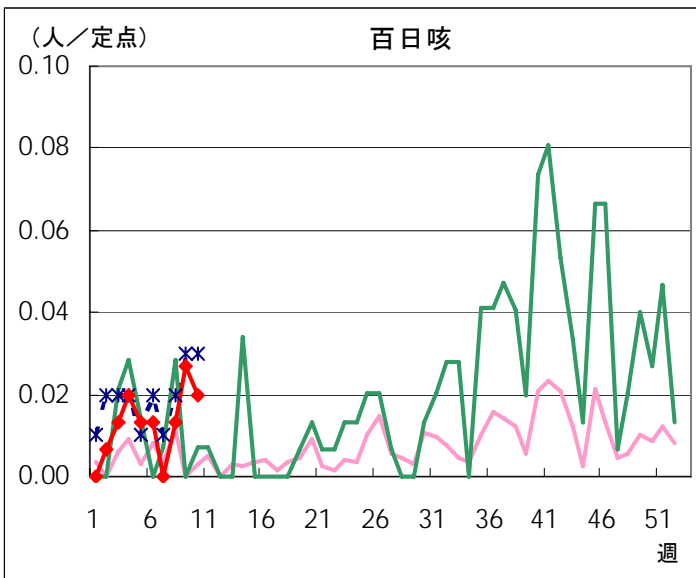
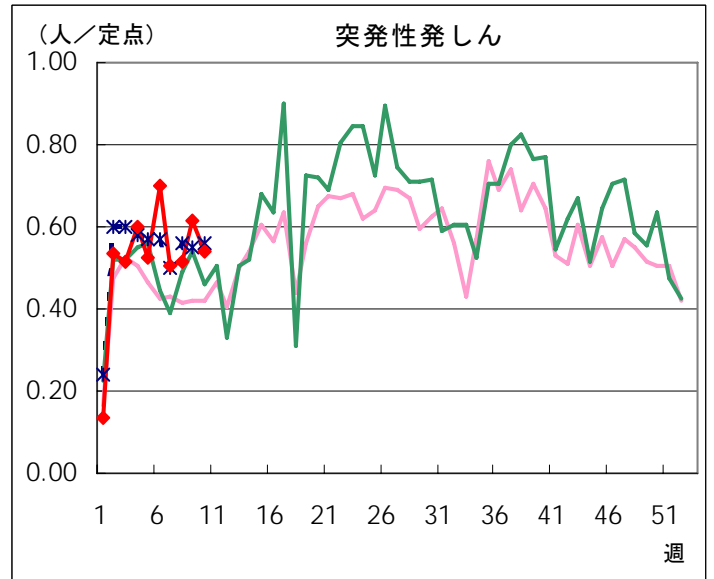
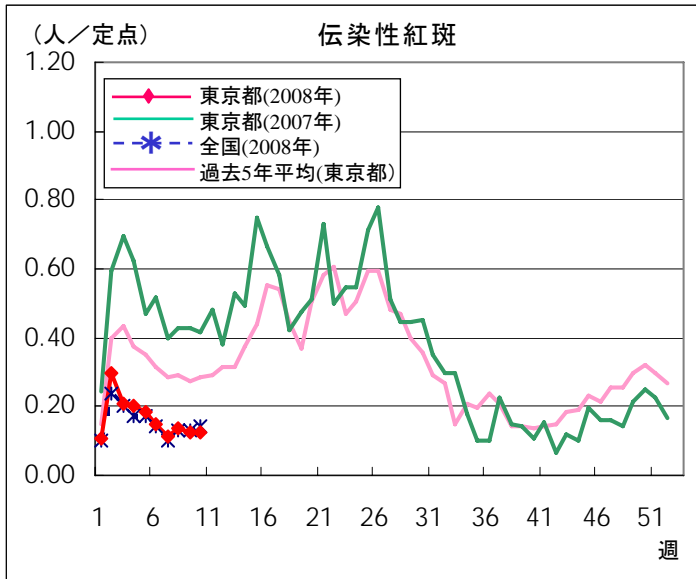
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				0.80		
中央区	0.67			1.50	3.00	1.00
みなと				2.13		
新宿区	0.17			2.56		1.50
文京	0.33			2.00		
台東	1.67			2.80		
墨田区		0.33		3.00		
江東区	0.25			2.22		1.00
品川区		0.17		2.20		
目黒区	1.00			0.33		
大田区	1.00	0.11		1.44		0.50
世田谷	1.38			5.07		
渋谷区	0.25			1.00		
中野区	0.33			1.78		
杉並	0.33			2.17		
池袋	0.60			2.00		
北区			0.25	3.00		
荒川区	2.00			2.50		
板橋区		0.17		1.83		
練馬区	0.60			2.83		0.50
足立	0.40	0.20		1.25	0.50	0.50
葛飾区	0.50			3.78		
江戸川				4.33		
八王子市	0.50	0.50	0.25	2.80		1.50
西多摩				6.22		2.00
南多摩	0.25			2.56		
町田	0.75	0.25		3.22		
多摩立川				2.38		1.00
多摩府中	0.10			5.48		0.67
多摩小平		0.17		6.07		2.00
島しょ				1.50		

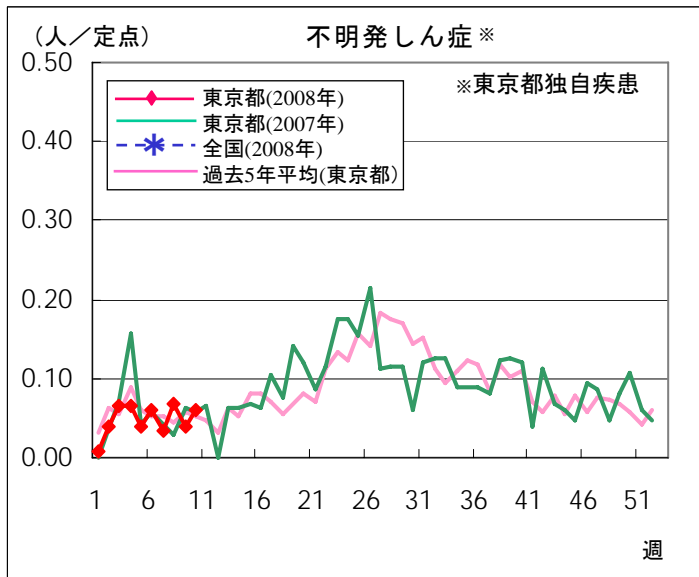
東京都	0.39	0.06	0.01	2.97	0.10	0.54
-----	------	------	------	------	------	------

定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2008年10週現在

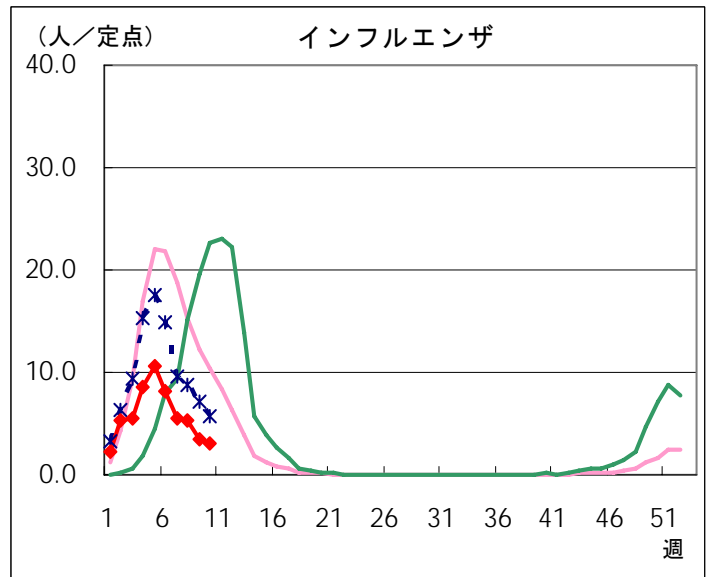
◆ 小児科定点



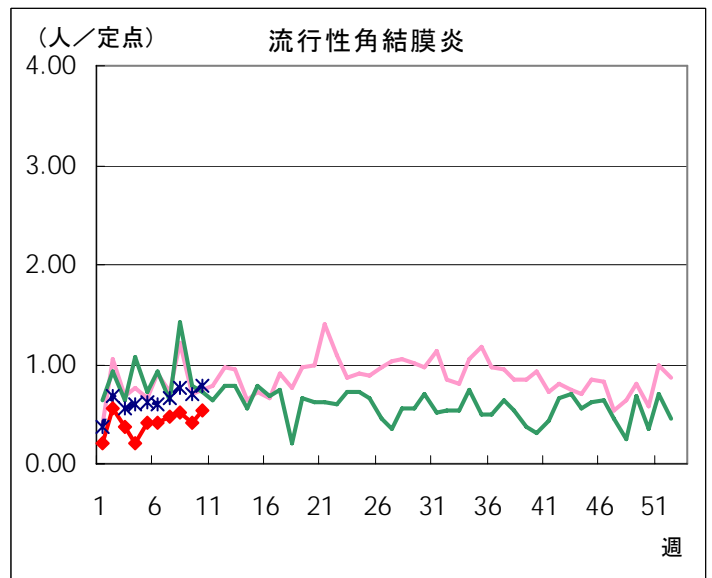
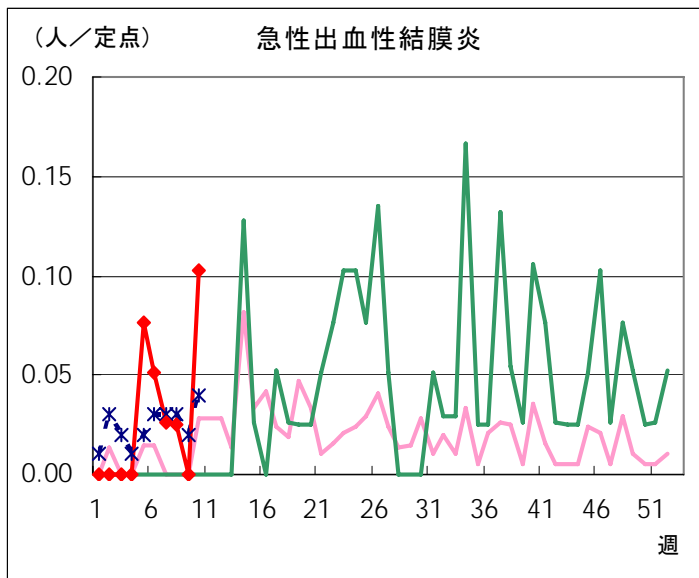




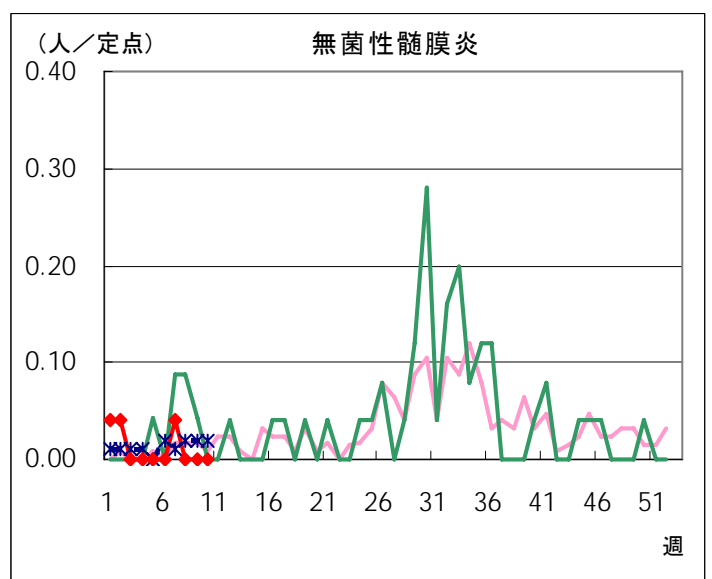
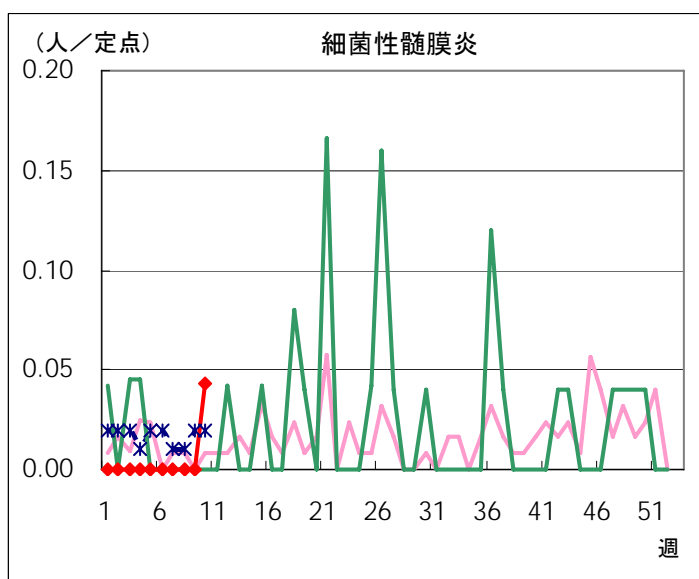
◆ インフルエンザ定点

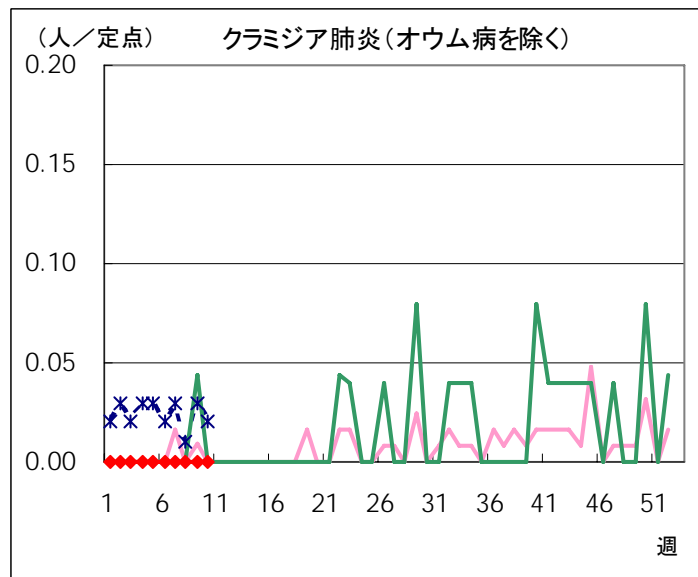
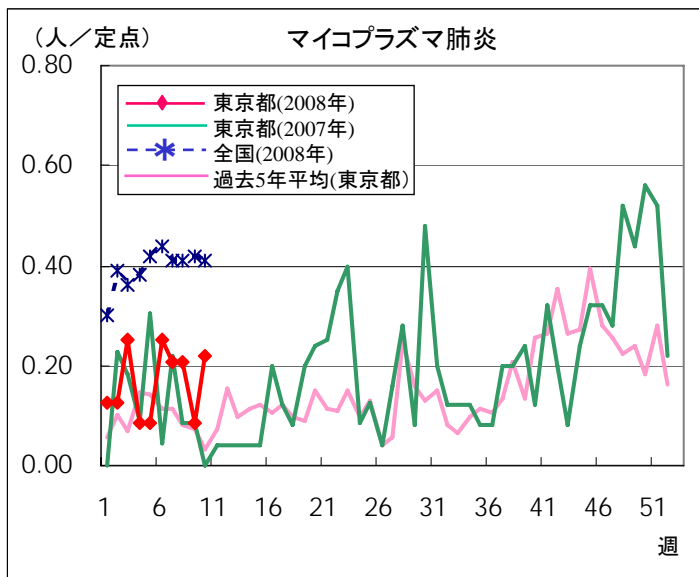


◆ 眼科定点

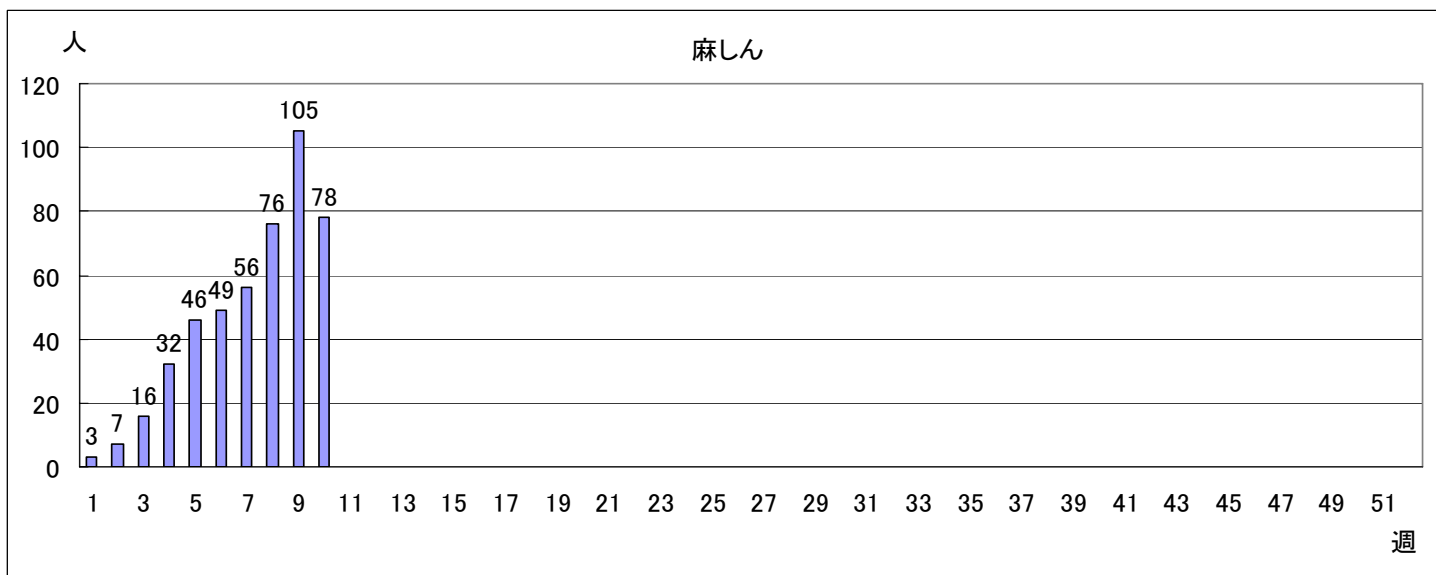


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2008年10週現在



定点医療機関からのインフルエンザに関するコメント

各定点医療機関から、迅速診断キットを用いた検査の結果に関わるコメントをいただきましたので、コメントのあった医療機関ごとに下表にまとめました。

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
みなと	7		
新宿区	3	2	
	2	1	
墨田区	1		
品川区	6		患者8名、B型は3名。
		3	
	3		
目黒区	1	1	A型は10歳男児、B型は7歳男児。
大田区	2		B型は4歳女児及び5歳女児。
	5	2	
	1		
世田谷		1	患者8名、B型は4歳男児。
	3		
	5		
	1		
	4	1	
	5		
中野区	3		
	1	2	
	1		
	5	1	
池袋		1	
	2		
北区	9	2	
	1		
	1		
足立	3		
西多摩	14		A型は40歳代女性、B型は20歳代男性。
	1	1	

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
多摩立川		1	
		1	
	2		
	1	1	
多摩府中	4	2	B型の1歳男児はタミフルを使用しましたが無効でした。 患者26名、近隣の小学校が学級閉鎖になり幼稚園でも流行しはじめました。
多摩小平	13		
	12		
	3		
	2		
島しょ			患者1名、検査はおこなわず症状経過から診断。
八王子市	5		
	7		
	4		
	1		

病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
2/16	感染性嘔吐下痢症	70	糞便	カンピロバクター・ジェジュニ	分離
2/21	インフルエンザ	29	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	遺伝子
2/22	伝染性紅斑	4	咽頭拭い液	パルボウイルスB9型	
2/23	インフルエンザ	35	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
2/23	胃腸炎	1	糞便	エンテロウイルス	
2/23	胃腸炎	1	糞便	ロタウイルス	抗原
2/23	胃腸炎	1	糞便	ロタウイルス	
2/25	インフルエンザ	22	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3型	遺伝子
2/25	流行性角結膜炎	34	結膜拭い液	アデノウイルス	
2/25	アデノウイルス胃腸炎	2	糞便	アデノウイルス ノロウイルス	
2/25	胃腸炎	9M	糞便	ライノウイルス	
2/25	急性脳症	9M	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	抗原
	ウイルス性胃腸炎		糞便	ロタウイルス	
2/26	インフルエンザ	4	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB型	遺伝子
2/26	インフルエンザ	73	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスB型	
2/26	気管支炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス メタニューモウイルス	
2/26	感染性胃腸炎	70	糞便	サポウイルス	
2/26	ウイルス性腸炎	90	糞便	ノロウイルス	
2/28	インフルエンザ	33	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
2/28	インフルエンザ	33	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH1型	
2/28	急性気管支炎	5	咽頭拭い液	メタニューモウイルス	

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
2/28	胃腸炎	1	糞便	ロタウイルス	抗原
2/28	胃腸炎 発しん症	7M	糞便	ロタウイルス	
2/29	胃腸炎	11M	糞便	ロタウイルス	
				サポウイルス	遺伝子

病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2008年							
		2	3	4	5	6	7	8	9
ウイルス	アデノウイルス	2	3	5	5	9	6	2	2
	ライノウイルス	2	2	2	2	2	7	2	1
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス	1			1	5	2	1	1
	単純ヘルペスウイルス		1				2		
	水痘・帯状疱疹ウイルス								
	ヘルペスウイルス6/7		2		1	4	4	2	1
	EBウイルス		3	1	2	2	1	1	
	サイトメガロウイルス								
	ムンプスウイルス		2	1		1	2	1	
	麻疹ウイルス					1			
	風疹ウイルス						1		
	パルボウイルスB19					1	1		1
	RSウイルス	8			3	1	1		1
	ノロウイルス	5	3	3	2	4	2	2	2
	ロタウイルス		2	1	1	1	2	1	6
インフルエンザウイルスAH1	25	13	10	18	19	5	9	4	
インフルエンザウイルスAH3	1		1	3	2	1		1	
インフルエンザウイルスB						5		2	
デングウイルス									
その他のウイルス			1			1		4	
細菌	カンピロバクター					1			
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌								
	その他の細菌								
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2008年2週～9週

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	
搬入検体数	159	21	45	91	25	1		10		1	1	18	12		1		111	
ウイルス	アデノウイルス	4	6	3	6			3				5	1				6	
	ライノウイルス	1	3	4	1							2	2				7	
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群																	
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス																	
	エンテロウイルス71																	
	その他のエンテロウイルス	1	1		5					1			1					2
	単純ヘルペスウイルス			1														2
	水痘・帯状疱疹しんウイルス																	
	ヘルペスウイルス6/7				1							5						8
	EBウイルス												7					3
	サイトメガロウイルス																	
	ムンプスウイルス													7				
	麻疹しんウイルス												1					
	風しんウイルス												1					
	パルボウイルスB19											1	2					
	RSウイルス	1	3	10														
	ノロウイルス				22													1
	ロタウイルス				14													
インフルエンザウイルスAH1	100		3															
インフルエンザウイルスAH3	8	1																
インフルエンザウイルスB	5		1														1	
デングウイルス																		
その他のウイルス			3	3														
細菌	カンピロバクター				1													
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																	
	溶血性レンサ球菌																	
その他の細菌																		
その他の病原体																		